

専任教員の 独り言

「家の近くに福祉施設があることは知っていたけど、社会福祉士の実習をすることになって初めて足を踏み入れた」と言う人が何人もいます。一方で、実習巡回で各地の施設に伺うと、地域に開かれたユニークな活動にたくさん出会います。

T学園の玄関前にはトランポリンが置かれ、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。職員の一部が「私も子どもの頃、ここで遊んでいたんですよ」と話してくれました。

庭先に白いベンチが置かれた“ちょっとおしゃれなカフェ”は、P事業所の利用者の食堂ですが、同じ時間に地域の人たちもランチやコーヒーを楽しんでいます。公園から子どもが駆け込んできました。カフェを通り抜けて施設内のトイレを借りるようです。

田植えをして栽培したもち米を「揚げ餅」に仕上げて地元のコンビニに納品している、パン職人の指導のもと製品を大手スーパーに納品している、豆腐やこんにゃくなど独自の商品を開発している等の生産活動は、販売を通じて地域の“産業”となっています。作業種目に郷土玩具の制作をとりいれて途絶えそうだった地域の伝統を守っている、設備を活用して地域向けの「陶芸教室」を開いている、「アールブリュット」といわれる芸術活動では利用者の作品を町中に展示し、独自の美術館を開館するなど、文化の発信に力を入れている所もあります。地道なところでは、町会

社会福祉士養成所

専任教員 中野恵美子



の回覧板は利用者が届けている、春秋の交通安全週間には通学路の旗出しに参加している、防災協力体制をとり、緊急時には地域に協力を求め、施設を開放する取り組みをしている等の話をよく耳にします。

福祉施設周辺で子どもたちがのびのびと育ち、伝統行事や文化が守られながら、多様でユニークな文化が発信されている…楽しいイベントがありボランティア活動も盛んで人々のつながりがある…福祉施設が防災拠点となって地域のバリアフリー化も進められ、誰にとっても住みよい街となっていく…そんな街からは「この地域に施設があって良かった」という声が聞こえてきます。

福祉の世界では地域の中に「社会資源」を求めますが、これらの例を見ると、福祉施設の側も「地域社会にとっての社会資源」として存在していることが実感されます。グループホーム建設の反対運動などに直面すると、施設と地域の関係は単純ではないことを思い知らされますが、福祉施設は日常的な生産活動や文化活動、そして町会活動などを通して、地域の産業や文化の「発信地・拠点」となっていく可能性をもっているように思えます。地域社会の中で、柔軟な発想をもって活躍する、ソーシャルワーカーとしての社会福祉士が求められているのだと思います。

●●●平成26年度スクーリング日程●●●

	第25期生スクーリングⅢ	第26期生スクーリングⅠ	第26期生スクーリングⅡ
東京会場	平成26年7月26日～27日	平成26年8月22日～24日	平成27年2月21日～22日
仙台会場	平成26年8月2日～3日	平成26年8月1日～3日	平成27年3月7日～8日
名古屋会場	平成26年8月9日～10日	平成26年8月8日～10日	平成27年2月7日～8日
大阪会場	平成26年7月20日～21日	平成26年7月19日～21日	平成27年2月14日～15日
福岡会場	平成26年8月30日～31日	平成26年8月29日～31日	平成27年2月28日～3月1日

国家試験に向けてのおすすめ図書

- 国民の福祉の動向（厚生統計協会）
- 厚生労働白書（厚生労働省）
- 週刊福祉新聞（福祉新聞社）
- 必携社会福祉士（筒井書房）
- 社会福祉士・受験ワークブック（中央法規）
- ワイド版社会福祉小六法〈資料付〉（ミネルヴァ書房）



知的障害者の福祉の向上を目指す月刊誌

知的障害福祉研究

support さぽーと

- 毎月15日発行
- A4判 68ページ
- 1部 596円(税・送料)
- 年間購読料6,480円(税・送料)

★当協会加入施設職員の方は5000円で年間購読できます(1部 470円)。

お申し込みは
当協会『さぽーと』係まで ☎ 03-3438-0467 FAX 03-3431-1803
http://www.aigo.or.jp/

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、
ご連絡ください。 ✉ yoseijo@aigo.or.jp

平成26年5月 発行

養成所ニュース

平成26年度 第1号 NO.24

発行

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
社会福祉士養成所

〒105-0013東京都港区浜松町2-7-19
KDX浜松町ビル6F
TEL:03-3438-0984 FAX:03-3431-1803

第26期生204名が受講スタート!

「第26期・新受講生を迎えて」

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所

第26期生の皆様、社会福祉士養成所へのご入学、おめでとうございます。

また、第26回社会福祉士国家試験を受験し、難関を突破して合格された修了生の皆様に祝福の言葉を申し上げます。

我が国が「障害者の権利に関する条約」に署名してから約7年を要し、本年2月19日に同条約の締約国となりました。

その過程において、障害者基本法、障害者虐待防止法、障害者総合支援法、障害者差別解消法等の国内法が整備され、障がい者福祉を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。今後、障がい者の権利の実現と人権尊重に向けた取組が一層強化されることとなりますが、その重要なポイントとして、法制度の中に「意思決定支援」の文言が盛り込まれたことがあります。障害者総合支援法の附帯決議附則では、施行後3年を目途とした検討課題の一つとして、意思決定支援の在り方が問われており、支援者の責務と専門職としての役割が求められることとなります。

1995年のソーシャルワーカーの倫理綱領改訂とともに採択された社会福祉士の倫理綱領には、利用者に対する倫理責任として、「利用者の自己決定の尊重」と「利用者の意思決定能力への対応」が謳われています。

社会福祉士の専門性は、まさに障がいのある方の意思決定支援そのものと置き換えることができます。社会福祉士には、権利擁護の推進者として、その専門的知識や技術を現場において実践することが求められているのです。

これから益々、社会福祉士を中心とした専門職が必要とされ、その力量が試される時代となります。本養成所での学習を通して、ソーシャルワークの価値や倫理、専門的知識と技術を身につけ、社会福祉士として活躍されることを期待しています。

仕事や家事等と多忙な中で受講される方が多いと思いますが、目標に向かって互いに励まし合い、邁進されることを心からお祈り申し上げます。



所長

橘 文也

■第26期生の概要（平成26年4月現在）

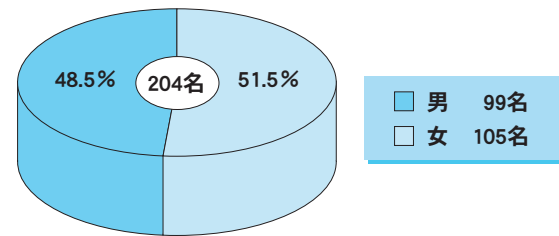
第26期生社会福祉士養成所の受講生は、204名です。

概要については下記の通りとなります。

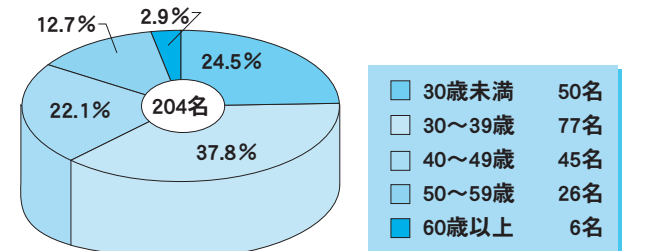
●運営状況（過去3年間）

年度（期生）	応募者数	入学者数	修了者数
平成24年度（24期生）	280名	269名	248名
平成25年度（25期生）	275名	263名	
平成26年度（26期生）	213名	204名	

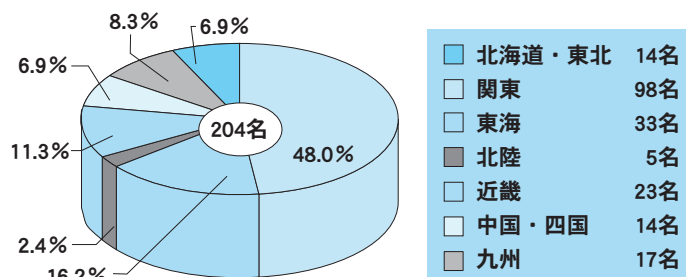
受講生男女比



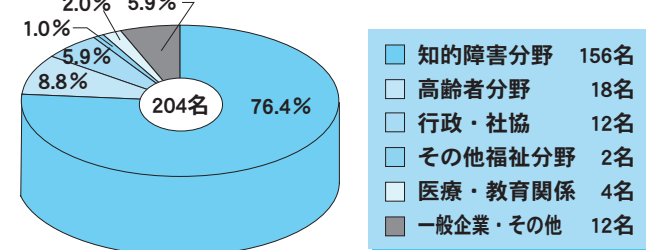
年齢別分布



地区別分布



勤務先種別



●通信教育 Q&A 受講生の方からよくある問い合わせについてお答えします。

Q₁ 引越で住所が変わったのですが?

- A ●住所・氏名・勤務先に変更が生じた場合には、すみやかに住所・氏名・勤務先変更届により届出てください。
●上記変更は本養成所ホームページの登録変更フォームより変更することも可能です。
●住所を変更した場合は、上記届出とあわせて、郵便局にて転送手続きを行ってください。

Q₂ 修了証明書を請求したいのですが?

- A ●国家試験の受験等、本養成所修了後に修了証明書が必要な場合は、次の2点を用意し、本養成所庶務部あてに請求してください。
①修了証明書交付願(受講の手引・ホームページに様式添付)、
②返信用封筒(返信先を明記し、82円切手を貼付したもの)
●交付に際して、手数料は必要ありません。そのため、返信用封筒がない場合や交付願による請求でない場合は、発行できませんので、ご注意ください。

Q₃ ワープロを使用する場合、原稿用紙はどうすればよいですか?

- A ●本養成所指定の原稿用紙（様式：A4版・横書き・30字×40行）を使用します。
●本養成所ホームページ（http://www.aigo.or.jp/yoseijo/）から【入力フォームやテンプレート】をダウンロードできます。欄外に科目名、課題番号、学籍番号、氏名を記入して下さい。
●評価（採点）する側にとって、読みやすいことが大切です。

Q₄ レポートを送付したいのですが?

- A ●本養成所指定のレポート提出用封筒を使用し、レポート提出期間内に送付してください。
●1通の封筒に上限1kgまで、封入することが可能ですので、各学期提出分のレポート全てをまとめて提出してください。
●郵送中に配達事故が起こる可能性もありますので、レポートをコピーし控えをとる事や簡易書留等の交付記録郵便を利用したの送付をお勧めします。

第26回国家試験結果報告

第26回社会福祉士国家試験において本養成所より196名（うち25年度修了者89名）が合格しました。昨年度（第25回試験）は99名（うち24年度修了者57名）でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（％）
第1回試験 └ 第10回試験	52,812	14,076	26.7
第11回試験 └ 第20回試験	333,509	96,847	29.0
第21回試験	46,099	13,436	29.1
第22回試験	43,631	11,989	27.5
第23回試験	43,568	12,255	28.1
第24回試験	42,882	11,282	26.3
第25回試験	42,841	8,058	18.8
第26回試験	45,578	12,540	27.5
合 計	650,920	180,483	27.7

国家試験の結果（養成所修了者）

	総数	新卒				既卒		
	合格者数(名)	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)		受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
第16回試験	199							
第17回試験	241							
第18回試験	235							
第19回試験	196							
第20回試験	253	262	146	55.7		408	107	26.2
第21回試験	212	244	124	50.8		434	88	20.3
第22回試験	224	262	133	50.8		423	91	21.5
第23回試験	202	206	101	49.0		426	101	23.7
第24回試験	151	179	73	40.8		440	78	17.7
第25回試験	99	223	57	25.6		427	42	9.8
第26回試験	196	204	89	43.6		561	107	19.1

●第26回社会福祉士国家試験合格基準●（文章一部省略）

次の2つの条件を満たした者を合格者とする。

- (1) ア 総得点150点に対し、得点84点以上の者（総得点の60％程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。
- (2) (1)のAを満たした者のうち、以下の18科目群すべてにおいて得点があった者。
- ①人体の構造と機能及び疾病 ②心理学理論と心理的支援 ③社会理論と社会システム ④現代社会と福祉 ⑤地域福祉の理論と方法 ⑥福祉行政と福祉計画 ⑦社会保障 ⑧障害者に対する支援と障害者自立支援制度 ⑨低所得者に対する支援と生活保護制度 ⑩保健医療サービス ⑪権利擁護と成年後見制度 ⑫社会調査の基礎 ⑬相談援助の基盤と専門職 ⑭相談援助の理論と方法 ⑮福祉サービスの組織と経営 ⑯高齢者に対する支援と介護保険制度 ⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 ⑱就労支援サービス、更生保護制度

◆第27回（平成26年度）社会福祉士国家試験（予定）◆

1. 試験の日時及び試験科目

試験日	試験時間	試験科目	
平成 27年 1 月 25 日 (日曜日)	午前 10時00分 ～12時15分 (83問)	①人体の構造と機能及び疾病 ②心理学理論と心理的支援 ③社会理論と社会システム ④現代社会と福祉 ⑤地域福祉の理論と方法 ⑥福祉行政と福祉計画	⑦社会保障 ⑧障害者に対する支援と障害者自立支援制度 ⑨低所得者に対する支援と生活保護制度 ⑩保健医療サービス ⑪権利擁護と成年後見制度
	午後 1 時45分 ～3 時30分 (67問)	⑫社会調査の基礎 ⑬相談援助の基盤と専門職 ⑭相談援助の理論と方法 ⑮福祉サービスの組織と経営	⑯高齢者に対する支援と介護保険制度 ⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 ⑱就労支援サービス ⑲更生保護制度

2. 受験手数料

7,540円（昨年度例）

3. 受験申込書の受付（提出）期間

平成26年9月4日（木曜日）から10月3日（金曜日）（消印有効）まで

※上記の最新情報、受験申込書類『受験の手引』の請求方法や『出題基準・合格基準』については、社会福祉振興・試験センターのホームページ（<http://www.sssc.or.jp/>）を参照してください。

◆国家試験合格者の声◆

平野 遼さん（第24期生）

今回私は無事試験に合格することが出来たわけですが、私の勉強方法は暗記系の参考書は活用せず、テキストの内容を「覚える」のではなく、「理解する」ように努めることと、あとはひたすら実践（問題を解く）あるのみでした。暗記系の勉強よりも実践的な勉強を重視した理由は、問題をたくさん解いていくことで、知らない用語が出てきても問題が何を聞きたいのかがわかるようになり、いわゆる実践力がそのまま身に付くからです。

福祉の仕事の現場においても思いもよらないことが起きるのはよくあることであり、その想定外の出来事（この場合は知らない用語等）に動揺してしまうのではなく、その問題の本質は何かを見抜き、解決に導こうとするように頭を働かせること、そういった実践力を鍛えることは、社会福祉士として仕事をしていく上でも必要な素養なのではないでしょうか。

私は実習中に、利用者虐待の現場に遭遇するという体験をしました。その「想定外」の経験から、何故そのようなことが起きたのかを考える、すなわちその問題の「本質は何か」を考えるようになり、そしてそれを見抜く目は、実践からでしか養えないものなのだと、改めて気付くことが出来たのです。

社会福祉士の資格は、取ることがゴールではありません。取って初めてスタート地点に立てるものだと思います。つまり、試験勉強を資格取得の為だけの勉強と位置づけるのではなく、いかに現場における実践に結びつけることが出来るかを考えることが大事なのではないでしょうか。これから受験を控えている皆さん、資格をとってからの社会福祉士として働く自分の姿を強くイメージしながら、日々起こる問題と真剣に向き合い、本質を見抜く感性を磨くことに努めてみてください。これこそが、合格のみならず、資格取得後の仕事を輝かせる力になると、私はそう感じ、信じています

稲田 愛さん（第23期生）

私は24年度卒業のため、本来ならば24年度に受験する予定でした。しかし、受験申し込みをし、受験講座を受講中に在宅での介護が始まり、受験当日に介護を交代できる環境が整わず、断念することに。

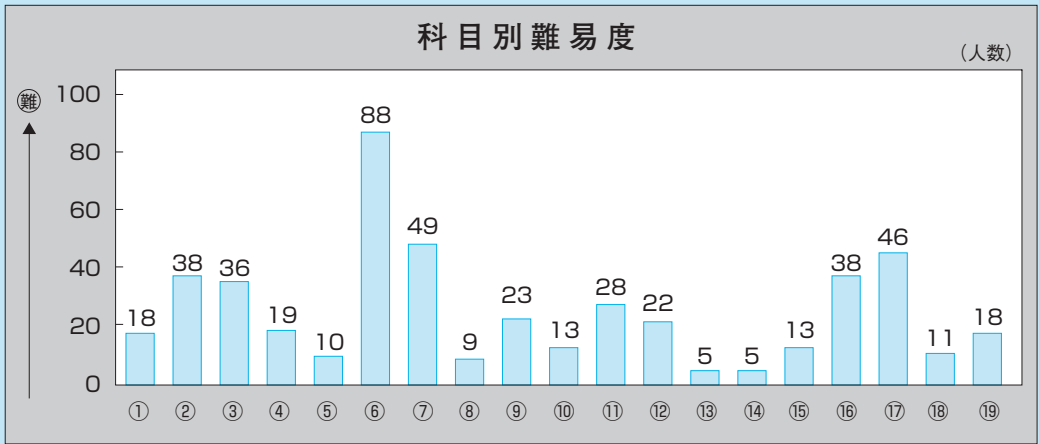
社会福祉士への道を諦めるべきか？悩んでいたところ、養成所より受験に向けての「ウォーミングアップテスト」が届きました。問題を解きながら、卒業生までにこのように手を差し伸べて下さる、きめ細かい優しさを感じ「再び受験をしたい」という強い意欲が溢れ、再び準備にとりかかりました。

勉強方法として、過去問題集をメインとしました。特に気をつけたことは参考書を兼ねることも考え、見開きで問題と解説のしっかりと書かれている本を選択。五択問題なので、誤の選択肢については「何故、誤なのか。本来の意味は何なのか」。解説書をしっかりと読み、覚えていきました。わからない語句が出てきたら、すぐに用語集もしくはネットで調べて書き出していきました。調べるだけでは理解できない語句が多い科目については、教科書を読み直す作業も同時に行い、時代や制度の背景など時系列で追って覚えるなどしました。

年が明けた頃から、時間を意識しながら過去問題を解く練習を始め、集中力を持続させることの難しさを痛感。気持ち的に慌てましたが、結果的には気持ちを引き締め直すきっかけになりました。直前には薄い直前用の問題集を購入し（予想問題が入っているもの）新しい情報を得るようにし、当日を迎えました。

講習会や模擬試験などが受講できず、ひとりでの勉強となりました。その中で「必ず受かりたい」その気持ちだけは持ち続けるようにしました。社会福祉士の試験問題は、振り返ると現場に出てからの必要な知識や情報を問う問題と感じました。福祉の仕事をしていくうえで、無駄にはならない勉強です。また現場で培った知識も得意分野として活かせるので、ブランクがあっても挑戦して頂けたらと思います。

第26回国家試験に関するアンケートについて



平成25年11月に修了した第24期生248名を調査対象とし、188名（①受験をした161名、②申込をしたが当日受験しなかった14名、③申込をしなかった13名）からの回答が得られました。

図は受験者の回答をもとに難易度数（難しいと答えた人数）を示しています。

横（項目）軸の囲み数字は、試験科目の囲み数字の科目名を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収していますので、未提出の方は早急に提出してください。

◇残念ながら合格できなかった方々からの反省とコメント◇（アンケートより抜粋）

・毎日継続してやるのがなかなか出来なかった。とにかく継続して勉強すれば前には進めるので10分でも20分でもいいからやるべきである。 ・直前に慌てて勉強を始めた。あと5点だったが、もう少し早く勉強を始めていれば良かった。レポート課題からも出題があったので、テキストの理解を深めておけば良かった（レポートを書くただけにしかテキストを見なかったのだ）。 ・深く理解をしないまま、表面上の暗記のみに時間を使い、当日は頭が真っ白…という状況でした（ゴロあわせの暗記など…。） ・年末にかけて、あまり勉強ができず、試験前の勉強の仕方が上手くいかず、本番、時間がなくなってしまったことが一番の反省点です。模試を受けられなかったことは、かなりの敗因です。当日の体調も悪かったのですが、これは気を付けられることなので…。 ・レポートが終わった後、ほっとした気のゆるみが出てしまい、試験対策にむけての切り替えがうまくできませんでした。常に「受かってみせる」と心に持っていましたか、心のかかずに「何とかかなる」と思っていたところもあり、反省しました。ただ、暗記するだけでなく、1つ1つ理解しながら暗記しなければならないと感じました。

※その他のコメントについてはホームページに掲載しています。